
シアワセのカタチ

神崎慧

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

シアワセのカタチ

【Nコード】

N8069H

【作者名】

神崎慧

【あらすじ】

少女の幸せの形。それは歪んでいるけれど、純粹で確かな幸福が
もしれません。

昔々の物語。

それらは確かにあった出来事だ。

しかし人々は真実を隠し、伝承として伝えていった。

それでも、稀にそれに気づく人間というものが出てくる。

これはそのことを知った、一人の少女の物語である。

外では冷たい風が吹き荒れていた。

いつになれば止むのか分からない、そんな吹雪の中。

私はいつものように暖炉のある部屋の中でホットミルクを飲みながら、本のページをめくっていた。

外の世界の物語が記されたその本は、何度読んだのかも分からないほど繰り返し読んでいた。

そう。外の世界、だ。

私の世界は、基本的にはこの家の中だけで、めったに外に出たりはしない。

理由は簡単だ。

私はこの家に、軟禁されているのである。

自由が無い訳じゃないし、不便なこともあまり無い。

ご飯も用意されるし、こうして過ごしやすい環境を与えてもらえている。

ただ、外にはなかなか出られないだけ。

もう一つ言えば、早く本を補充してほしい。

まあ、それはこないだお願いしていたから、そろそろ持ってきてくれるだろう。

最初の頃を思い出して、少しだけ苦笑する。

ここに来たあの頃は、ここは地獄なのだと思っていたけれど、今となつてはだいぶ過ぎやすい環境となっていた。

一種の天国、と言い換えても良いだろう。

まあ、世界とするには少し狭い気もするが、それでも日々を過ごす家としては大きい方だと思う。

そんなことをつらつらと考えていく。

それだけでも暇つぶしにはなる。

有り余る時間を過ごすことには慣れてしまった。

いつ止むのかは分からないが、この吹雪が収まれば新しい本を持つてきてくれるだろう。

早く止まないかなあ……。

私はそこまで考えたところで、本へと意識を戻した。
いつものように。

ただ、日々を過ごす。

（後書き）

一人の少女が描く日常。

それはきつと、一つの幸せの形。

人はきつとその少女の幸せを否定するかもしれない。

しかし、少女は確かな幸せを感じているのでしょう。

一番最初の部分は、少女が読んでいる物語の冒頭部分ということ
で。

設定を考えられなかったとか、書こうとして挫折したとかそういう
ことじゃないよ？ ホントだよ？

……ごめんなさい。嘘つきました。

あれ以上の続きを思い付かなかったただけです。

さて、そんなところで気を取り直して。

いかがでしたでしょうか。

少しでも楽しんでいただけたのなら幸いです。

好き嫌いの激しい話になるかもですが、私自身は書きたかった話
の一つです。

少女は確かに不幸な境遇かもしれませんが、少女なりに幸福な環
境の中で生きています。

それはそれで一つの幸福の形なのかな、と思うのです。

それとは逆に、幸福な境遇でも不幸な環境になることもあるかも
しれません。

結局のところ、考え方の問題なんだよなあ、なんて。

そろそろ長くなってきたのでこの辺りで止めておきたいと思いま
す。

それでは、ここまで読んでくれたあなた。
お疲れ様でした。
そして、ありがとうございました。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8069h/>

シアワセのカタチ

2010年12月9日14時34分発行